

ハニー・エフピコ エコストア協働宣言！ 水平リサイクル「ストア to スタア」の協働を強化

～2026年9月期にCO2排出削減量「年間95t」を目標～

協同組合ハニー(本社:福井県、理事長:木村 博常、以下「ハニー」として)と株式会社エフピコ(本社:東京都新宿区、代表取締役会長:佐藤 守正、以下「エフピコ」として)は、持続可能な循環型社会の実現を目指し、ハニー加盟店の36店舗を対象に、地域の皆さまと共に水平リサイクル(※1)の協働を強化する「エコストア協働宣言」を発表いたします。

ハニーとエフピコは「お店がその地域のエコリーダー」となることを目指し、地域の環境負荷低減、リサイクル資源の有効活用を積極的に行い、持続可能な循環型社会の推進に貢献してまいります。

本取り組みについて

「ストアtoストア」とは、ハニーで使われる食品トレーを、お客様にご協力いただき、お店で回収し、それをもう一度、新しい食品トレーや透明容器に生まれ変わらせて、再びそのお店で使うリサイクルの仕組みです。この水平リサイクルは、資源の用途を変えずに何度も循環させることで、CO2排出量の削減に大きく貢献する、とても大切な取り組みです。

今回の協働宣言に伴い、ハニーでは、肉や魚に使用するトレーをより環境に優しい「エコトレー」への切り替えを、2025年10月1日より全店でスタートしました。

皆さまには、お買い物の際にぜひトレー回収にご協力いただけますようお願い申し上げます。

取り組みの数値目標について

この取り組みを通じて、ハニーではCO2排出量の削減に貢献してまいります。削減目標数値については、2026年9月期に前年度比86%増の95tを目指します。ハニーとエフピコは「お店がその地域のエコリーダー」となることを目指して、これからも協働し、エコ製品の積極的な使用、回収量の拡大、そして環境啓発活動を推進してまいります。両社は、これからも地域の皆さまとともに、持続可能な社会の実現に向けて、より一層尽力してまいります。

●「ストアtoストア」とは

「ストア to ストア」

お店が発着点のリサイクル。お店の思いがもっとも消費者に伝わります。

「お店」で使用・販売された食品トレー・ペットボトルは、その「お店」で回収し、エフピコで食品トレー・透明容器に再生して、再生した食品トレー・透明容器をその「お店」で積極的にご使用いただく。この「お店」を発着点とした「ストアtoストア」の取り組みをさらに推進してまいります。



※1 リサイクルの前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法

※2 回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコAPET」、「エコOPET」

【ご参考】

<協同組合ハニー>

協同組合ハニーは昭和47年2月に結成され、創立55年目を迎えました。

福井のローカルスーパーとして地元福井に根差した品揃えを行い地域に貢献できる店舗づくりを目指し営業しております。

現在、福井県内36店舗を運営しており嶺北一円から敦賀市まで1日平均45千人のお客様にご利用頂いております。

所在地:〒910-0837福井県福井市高柳1丁目609番地

代表者:理事長 木村 博常

創 立:1972年2月15日

H P:<http://www.honey.jp/index.html>

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環、及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6036 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー36階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

H P:<https://www.fpc.jp/>

以 上